令和８年度第１回県立都市公園利活用等推進有識者会議　会議録

１　日時

令和８年８月 31 日（月）

（１）　会議（議事ほか）：10 時 45 分から 11 時 30 分まで
（２）　現地調査　　：11 時 30 分から 14 時 00 分まで（うち１時間昼休憩）
（３）　意見交換　　：14 時 00 分から 15 時 00 分まで

２　場所

（１）　現地調査　：ＷＡＤＯパークはなまき（県立花巻広域公園）
（２）　有識者会議：ＷＡＤＯパークはなまき（県立花巻広域公園）管理事務所２階会議室

３　出席構成員（敬称略）

内田尚宏、吉田基、森博喜、五味壮平、杉村一郎、佐々木史恵

４　概要

〇会議の公開
本日の会議の公開の可否について有識者会議に諮った結果、公開することに決定した。

〇現地調査の実施
園内の運動広場、テニスコート、ゴルフ場、イベント広場等の見学を実施した。

・・・

り組んでいるところ。ゴルフ場については、認知度の向上、利用者の安全に配慮したコースの確実なメンテナンス、県との連携による修繕などに取り組んでいるところ。

３　令和８年度第１四半期の取組、振り返り

令和８年４月から県のネーミングライツ事業で愛称が「ＷＡＤＯパークはなまき」となり、除幕式や大型オブジェ設置を実施し、企業連携による情報発信を行った。岩手朝日テレビの特集番組にも協力し、公園の魅力を紹介した。

ぎんがのもりまつりは春・夏・秋の開催を基本としているが、春まつりは天候不順の影響を受け来園者数が伸びなかった。

イノシシによる大規模な掘り起こし被害が発生したため、猟友会による捕獲、県による復旧工事、電気柵設置を実施した。現在は24時間通電により被害防止を図っている。

７月にはクマの出没があり、利用者から通報を受けて臨時閉鎖を実施した。猟友会等と連携して安全確認を行い営業を再開した。早朝・薄暮営業については監視体制を強化した。

４　令和８年度第２四半期以降の方向性や取組

今後は秋まつり、ピクニックマルシェ、釣り体験教室、はなまきバイクミーティング、35周年記念ＷＡＤＯ杯コンペなどを実施する。民間主催のイベントで今定着してきましたピクニックマルシェについては、開催日数を今年度は１日延長し、２日間実施する予定で集客が見込まれる。また、ゴルフ場予約サイトである楽天GORAの予約状況が好調であり、来年度に向け、より利便性を高めるために予約枠の追加などについて、今後検討していきたいと考えているところ。

５　今後の懸念事項

指定管理者単独では解決が難しい課題として、施設老朽化、有害鳥獣対策、利用者減少、物価高騰、ゴルフ場収支悪化を挙げる。有害鳥獣に係る対応については、電気柵を設置したが、これから改善すべき事項がないか、その効果測定を十分に行い必要に応じて県と相談していく。

ゴルフ場は独立採算での経営が困難な状況であり、公園全体でも赤字が発生している。抜本的な利用促進策が必要である。

座長

ありがとうございました。今の説明について、県の方から補足があればお願いします。

事務局（岩手県都市計画課）

お手元の「令和７年度県立都市公園の管理運営評価について」という資料をご覧ください。県では指定管理者制度を導入している施設の管理運営状況について、指定管理者から報告を受け、評価を実施し、公表することとしております。その管理運営状況の評価については、すでに構成員の皆様には資料をお送りしているところでございますが、本日、お配りしているのはその概要版でございます。

花巻広域公園の令和７年度の管理運営状況につきましては、⑴業務の履行状況はＢ評価、⑵運営体制等はＡ評価、⑶サービスの質はＡ評価、⑷サービス提供の安定性・継続性はＢ評価としております。

Ｂ評価となっている項目について、少々説明させていただきますが、

⑴業務の履行状況につきましては、集客に向けた取組を実施していただいているところ

ですが、気象条件や社会状況などの影響もあり、公園及びゴルフ場等の利用者数が目標値に達しておらず減少傾向であることから、Ｂ評価としております。

また、今年１月に開催された有識者会議においても、更なる改善で利用者が増加する例もあるなどの意見がありました。

また、⑷サービス提供の安定性・継続性につきましては、物価高騰や電気料高騰等による影響もあるところ、施設運営に支障が出ないように努めていただいているところですが、事業収支がマイナスとなっており、ここ数年を見ても事業収支が厳しい状況にあることから、Ｂ評価としております。

総合評価として、来園者の安全確保や、危機管理体制の構築、適切な清掃や植栽管理等を行っている点はプラスに評価できますが、利用者数の目標が達成できていないことや、事業収支も厳しい状況であることから、顧客層等のターゲットに応じた企画立案や広報活動等を通じて公園の利用促進に取り組んで頂きたいとまとめております。

事務局からの補足説明は以上となります。

・・・

っていただきたいというお願いをしていました。今度の伐採した木については、一応園内にも我々の方で何かあった時に捨てるような場所があるので、そこのところを指定して、そちらの方においていただこうかというような形で、業者の方とは打ち合わせをしていただいています。

Ａ氏
松は処分面倒ですよね。

WADO パークはなまき
松は県のガイドラインに則った形で処分をするので、11 月以降の伐採という格好になって、それなりのその施しをした上でということになるかと思います。

Ａ氏
雑木は持ってきてもらえると、うちの利用者さんがきれいに動かしてくれます。

WADO パークはなまき
そこのところはちょっと検討させてください。

座長
松以外ということですね。

Ａ氏
松はちょっと我々では触ってはいけないルールがあるので。

座長
そうなんですね。いくらかでも経費の削減ができる可能性があるということで、それにやはり地元の方から有益なご意見をいただきました。他に、何かありますでしょうか。

Ｂ氏
午前中に説明いただいた利用実績というところで、目標に対して実績が 60%ですけど、そもそも目標はどういう設定方法でしたでしょうか。その確認からお願いしたいです。

WADO パークはなまき
ここの指定管理というのが来年度までの５年間で、事業団が手上げをさせていただいて、指定管理をさせていただくという形になったところです。
したがって、コロナよりも前の時期に、指定管理を受ける時の募集する際の我々の方の思いとしては、過去の、それよりさらに遡って過去の数値を取った上で、あとは伸び率をかけて、目標値を作って、やっていたものですので、コロナの影響であるとか、そういったものが全く反映されない、当時の目標値になっているがために、非常に高い数値になっております。
おそらくこれは、指定管理を受けているところは、同じような形でその目標値というのを掲げて、なんとか我々に管理運営させてくれという格好で出しているものだと思いますので、そういったようなことがあるがために、かけ離れた数値が今も現存しているというのが実情です。

Ｂ氏

そうだと思います。いわゆる団塊世代が後期高齢者になって、コロナ以降、そういった世代をターゲットにしていた施設が非常に来客が下がっているということだと思います。当然今は少子化ですので、公園も来客が厳しくなっていると思います。

もし次に目標をたてるチャンスがあるとすれば、人口減少なども考慮して立ててほしいです。いろいろ頑張っていらっしゃいます。目標をたてるのであれば、もう少し事情を考慮してほしいと思います。

座長

ありがとうございます。今、目標についてありましたけれども、他の公園とも同じような課題がありますので、やはりおっしゃったように、最初に申請を出すときに、私たちはこんなふうにして利用者を増やすというアイディアを出して目標をたてると思いますので、どうしても高めに出しがちなのかなと思うんです。社会情勢や人口減少を考えてみると、全国的に人が減っている現象があるわけです。今回、この評価においても最初に出されましたように、いろいろな取組はちゃんとやってる、丁寧にやっている、でも目標値には達していないので、Ｂという評価です。目標の設定をやはり見直す必要があるのではないかなというのを思います。

Ｃ氏

僕も全く同じ質問をしようと思っていて、目標の設定をするタイミングというのは、指定管理を５年ごとにみたいな感じですが、毎年見直すというわけにはいかないのでしょうか。

WADO パークはなまき

そこは多分、県が答えてくれないと、我々がお答えすることができないです。実績は我々きちんと押さえて分析をかけてます。したがって、次の年、だいたいこのくらいになるのではないかという思いがあるので、目標値と比較してみれば、当然格差が出るというのがわかってますので、例えば目標値の補正をするだとか、そういったようなことがもし可能であれば、やれなくはないのかなと思うんですけども、県の方で５年間分の目標値をその指定管理をお願いする時に、これで認めたという形になって、それが固まってしまっているものだとすれば、なかなかそれを見直すっていうこと自体は、県の方が何と言うかなというところです。

Ｃ氏

やはり圧倒的にゴルフ場の収入が大きいわけで、他のところで先ほどあったみたいな話をしたのですけど、その時に、ゴルフ人口みたいなものというのもやっぱり全体的なというか、日本中というか、そういった情報も他も多分困っているかもしれないと思います。その辺の数値はおさえていますでしょうか。

WADO パークはなまき

実際どうなのかというところまでは分析できてはいないのですが、いろいろなところと話をして、あるいは民間のゴルフ場の方と話をしてみても、やはりゴルフ人口というのは落ちてると。高齢化が進んでます、という話で受け止めてました。高齢化が進むと、結局、歳を取ってフェードアウトしていけば、若い人たちがそこから下に上がってこない限りは、どんどん尻すぼみになっていく。ゴルフ場も、県内のゴルフ場でも一つ二つ

は今回も閉じるという話も伺ってますし、あとはゴルフ場でのお客さんの分捕り合戦ということになるだろうというように受け止めてまして、そうなってくると今度は設備面でどうなのか。例えば乗用カートがあって、もっとグリーンの素晴らしい、もっと整備の行き届いたゴルフ場に行って、たとえ県民ゴルフ場よりも料金が少し高くてもそっちの方がいいなというようなことで分捕り合戦になってしまうと、どうしても我々のゴルフ場というのは民間のゴルフ場と競争しても、あまり太刀打ちできないのかなと思ってまして、我々の強みは一体何なんだろうかというのを考えて、他のゴルフ場で、例えばコンペとか何か大会に参加しようとする人たちが、ここのゴルフ場は安価な料金で練習場になるんだと。練習をするためにこのポイントで頑張っていただけませんか、プレイしていただけませんかというような訴えをしながら、こちらのゴルフ場にお客様を呼び込むというような格好で、一応コンセプトはそんな感じで周知しております。

Ｃ氏

先ほど、その計画をもしリニューアルというか、見直すことができるのであればさせていただいて、どういうふうな根拠に基づいて計画を作るかということが多分そこに一定の合理性が多分必要なんだと思います。その時にやっぱりそのゴルフ人口、県内なのか、全国なのかわからないのですけどそういったものが、一つは指標になるのかなと思います。

座長

これは県との話ですけれども、この場でできる話ではないですが、そういうふうな話になって、積み重ねていくというものだと思うのですが、今日も見させていただいて、練習で来ている方がいらっしゃって、赤いボールでたくさん打っている人がいました。一人でも練習できる、そういうゴルフ場があるんだと。それは魅力だなと。そういう初めてやってみたいという人たちには、そういう良さはあるんです。本来、この公園の趣旨である収益を上げるのではなくて、そういったスポーツ人口を増やしていくという点の場所としての価値という意味ではあると思いましたので、そういう人たちの利用を増やしていくにはどうしていったらいいかと。どうしても数字を見てしまうのですが、そういう視点で話すことがあるかなと思いました。そういう意味で、御所湖広域公園で何かありますでしょうか。

Ｄ氏

私は御所湖広域公園のエリアなので、どうしても比べるというか、ただ、御所湖広域公園は、一か所にはなくて、御所湖周辺に渡って公園があるというふうな感じなので、例えば、思ったのは、修繕をかけるにしても、今年度は例えばファミリーランドにしようとか、今年度は乗り物広場にしようとかというふうにポイントを決めて修繕かけるにあたっては、やりやすいのかなというふうに、あの御所湖広域公園も劣化している場所が結構あるのですけれども、花巻さんは全部が繋がっている状態なので、どこか一箇所修繕したところで、そこを絞り込んでやるという絞り込みが難しいのではないかなと思って見ました。確かにこうやって見てると、ゴルフの利用が、断然多いので、ゴルフ場のところばかり見てしまうのですけれども、そうではなくて、私は公園全体として見たときに、あのファミリー層だとか、ゴルフをする人以外の方たちはどこを目当てでこの公園に来ているのだろうかと見て思いました。その動向をちょっと見て、ここはポイント的に綺麗にしようとか、それこそ階段を少しちゃんと危なくなるように直した方がいいんじゃないかとか、そういう順番をちゃんと決めていかないと、いっぱい予算がある

わけじゃなくて、限られた予算で少しずつ修繕をかけていくと、イタチごっこで、ここを直せばまた回ってくる間には悪くなるということなので、どこを一番目指して、ファミリー層が来てるのか、リサーチをした上で、そこをピンポイントで早めにそこは直した方がいいとかというふうな感じにしていくのがいいのではないかなと思って見ました。ゴルフ場を利用する方がどうしても高齢の方々が多いのかなと見ましたけれども、ただそれはそれの良さがあるので、そういう使いやすさを、もっともっとアピールして、お客様に練習場としては最適だよみたいな感じで、やってみたらどうかなと感じたところです。

座長

今回はそういったところが焦点になってくるだろうなと思いましたが、結局、維持管理できているかどうかであるとか、時代に合わないものになってきている理由であるとか、あと人口減少率では、どうしようもなく、減少になるとか、そんな中で、経費と維持管理、運営との関係とか、そういったところになるのだろうなと思いました。

Ｅ氏

皆様に後で共有できるよう、現地を歩きながらスマートフォンで整理していました。

AI を使いながら資料を作成していますが、学習データとして利用されない設定にしています。まず目線を合わせたいのですが、先ほどＣ氏からもお話があった「目的」についてです。花巻広域公園は、「北上中部地方生活圏のレクリエーション需要に対応すること」を目的に計画された公園です。広域の人々に余暇を過ごす場を提供するという公共的な役割があり、収益最大化そのものを目的とした施設ではありません。一方、この公園には県民ゴルフ場が併設されており、こちらは事業としての採算性も求められます。利用実績を見ると、利用料金収入の大半をゴルフ場が占めていますので、公園とゴルフ場の収入・費用の関係や、どこにどれだけコストが掛かっているのかは、分けて見える化した方がよいと思います。

今の時代は、単に余暇を過ごす場があるだけでなく、「わざわざ行きたい」と思える価値をどう提供するかが重要だと思います。例えば、自然の中で癒やされること、特別な体験ができること、人と交流できること、家族の思い出が残ることなどです。そうした価値がきちんと伝われば、来園や再来園につながります。また、来園者の増加、イベントやウェディング撮影、地元企業との連携・協賛、周辺の宿泊・飲食との連携などを通じて、地域への経済波及効果も期待できます。公園の目的は収益最大化ではありませんが、利用者への価値提供と地域への波及を両立できればよいと考えています。

次に、現地を歩いて感じた疑問や課題を整理しました。まず採算性・コスト構造です。公園、ゴルフ場、共通費、イベント等について、どこにどれだけ費用が掛かり、どこから収入が生まれているのかを見える化したいと思います。次に目標設定です。人口減少などの構造変化がある中で、現在の来場者目標が高すぎる可能性があります。計画と実績の乖離が大きい場合は、目標を下げるということではなく、前提や算定方法を確認し、改善行動につながる目標に見直す必要があると思います。

ゴルフ場については、やるのであれば本気でマーケティングする必要があると思います。若年層や初心者、女性など、これまでと異なる利用者層を仮説として捉え、気軽に試せる練習用途や少人数利用なども含めて、どの層に何が響くのかを検証していく必要があります。現地を見て、公園そのものには非常に良い資源がたくさんあると感じました。利用者数だけでなく、利用料金や付帯収入、レストラン等の収入、維持管理費、予約チャネル、イベント実施後の来園や再来園など、可能な範囲で数字を細分化して見ら

れると、改善点が明確になると思います。

実務では、収益改善だけを考えるなら、最もインパクトの大きい部分から手を付けます。その観点ではゴルフ場の改善が大きな論点だと思います。ただし、今回は公園全体の利活用がテーマですので、公共的な価値と事業の持続可能性のバランスを見る必要があります。公園とゴルフ場を切り分けて収支・費用を管理し、それぞれ何を改善すべきかを明確にすることが重要です。

また、人口減少という前提を踏まえて、利用者目標や改善計画の妥当性を見直す必要があります。ゴルフ場の利用者についても、従来の企業・団体利用だけでなく、一般客、シニア、初心者、女性、仲間同士など、利用者像が変化している可能性があります。これは仮説ですので、予約データ等で確認する必要がありますが、現状は魅力や情報が十分に届いていない面もあると感じます。SNS 等を含め、誰に何を届けるのかを設計し、取れる数字をきちんと取って、効果を確認していくことが重要だと思います。

次に、花巻広域公園の魅力についてです。現地写真と生成 AI によるイメージを比べながら考えました。例えば、鬼剣舞のモザイクは非常に印象的な資源です。大規模に作り替えなくても、照明や撮影位置の案内などを工夫するだけで、写真を撮りたくなる場所にできる可能性があります。

レストハウスも、結婚式の前撮りで利用されたことがあると伺いました。建物の雰囲気を生かし、照明、地域の飲食事業者との企画、小規模イベント、企業協賛や展示などを組み合わせる余地があると思います。現地で遊んでいたご家族を見ても、物価高の中で、あまり費用を掛けずに楽しめる公園には需要があると思います。特に家族連れに対しては、「この場所から撮るときれいに写真が撮れる」といった撮影スポットの案内だけでも価値を高められます。設備投資を伴わない情報提供でもできることはあります。

このように、「余暇を過ごす場所」から一歩進めて、「ここに来るとどんな価値が得られるのか」を明確にし、その価値が伝わる導線を作ることが大切だと思います。ターゲットを絞り、例えば家族連れ、初心者ゴルファー、自然や写真を楽しみたい方など、それぞれに合った情報を SNS 等で届けることで来園につなげられると思います。

資料は後ほどメールで共有します。

座長

ありがとうございました。非常に興味深い意見でした。どうやったら本当に集客につなげられるか、案を出しても、なかなか実現が難しかったりする中で、非常に具体的に示していただいたと思います。非常に突っ込んだ、具体的なお話をいただきましたので、その上で実践しているお立場から、いろんな具体的なイメージを出していただいたと思うのですが、いかがでしょうか。

WADO パークはなまき

非常に多種多様なアイデアがありまして、我々でも気づかなかった部分、そういった部分がたくさんあるかというのを気づかせていただきました。公園とゴルフ場というのは、背景的に別物で取り扱っています。ゴルフ場は冒頭申しましたように独立採算という形で、入ってくるもの、出ていくものを我々が管理しながらやっていくっていうのを建前でやっています。一方、公園というのは本当に無料で遊べるところということで、利用料金を取っている部分というのは、テニスコートであるとか運動広場であるとか、あとはイベント広場のようなところを何かで使いたいという時は、利用料金というのが条例上発生するという形で料金いただいている部分があるんですけれども、ほぼ無料で利用していただいている場所ということで、それを管理していくために必要な経費とい

うのは、県の方から指定管理料という形でいただいて、それで管理をして運営しているというのが現状です。やっぱり一番問題なのはゴルフ場でして、ゴルフ場を管理するための歳出経費を賄えるだけ、今、利用者数、利用料金の収入を得ていないというのが現状なものですから、収入を得るためにどうしたらいいか、これまでいろいろやってきた利用促進策というものも効果を得ているものもあるのですけれども、それに追いついていないというのが現状です。ただ、これからいろいろ工夫しながら、また改善できる部分が今の話の中でも、我々もそういうこともあるというのを気づいた部分でございますので、そういった部分を生かしながら、頑張っていきたいなというふうに思いました。

座長

ありがとうございました。やはりゴルフ場の問題というのが出てきました。公園の本来の目的としては収益ではなくてというところもあります。ただ、指定管理を受けている側としては、当然、赤字のままにまた受けているとはいかないということは大きいと思うのです。実はこれは、この花巻だけではない問題です。もっと大きなステージでの話で、このことをどこまでここで詰めていくのかは少し違うような気がしています。ただ、そのことも踏まえていかないと、他の公園、どの県立都市公園の運営の進め方、利用者促進につながらないということもありあす。このことについて、事務局から何か、今の話の中で、その懸念材料をいかに整理して、もしくは出して、ここで解決策を話し合いましょう、というようなところまでいけるものではないと思いますが、利活用を推進するために、他にどんなことがありましょうか。

都市計画課総括課長

非常に貴重なご意見をいただいたなと思ってお聞きしていたところです。確かに人口減少の中で、なかなか利用者を劇的に増やすというのは難しいとは思いますけれども、色々いただいたご意見を踏まえながら、指定管理者とも、連携して、できることからまず取り組んでいくことが大事だと思っていましたので、引き続き、県としても様々な取組を進めていきたいと思います。

座長

ありがとうございます。他に、今のお話を含めてですけれども、今後のことでもよろしいですが。

Ｂ氏

公共建築、コンクリートは大体 35 年ぐらいで大規模修繕したり、変えたり、新しい時代に合わせて、そこに大きなケアが入るんですけど、やっぱりそういう時期になっている。細かく修繕していくのももちろん大事ですけど、その先、 次の 30 年に向けてどのように変えていくかという話を進めていかないといけないという感じで、どういう未来を目指すのかというのが大事だと思っています。今、ちょっと関東の方からゴルフ場の見直しなど手伝ってくれという話が来るのですけど、やっぱりインバウンドの影響で、ゴルフ場の利用が増えてて、それに合わせてすごくグレードが高いものにしていくというところがある。それで、どんどん周りのゴルフ場が潰れていったり、リニューアルしていったりする中で、このゴルフ場をどう維持するのか、あるいはダメなのかを含めて考えていく時期にあるのかなと思います。

もう一つは、先ほどのテニスコートの利用が多いことについてとても嬉しかったんで

すけど、あんまり利用者同士の交流の場がないのかなと思います。でも、控え室に行けば、掲示板があって、今度はテニス一緒にやろうねみたいなコミュニティの場があるのかも知れませんが、利用者さん同士のコミュニティづくりというのがあると、もっとコアなファンが増えるのかなと。最近では鉄道会社なんかですと、一生懸命イベントをやってお客さんを増やそうとするのですけど、実際そうじゃなくて、毎日乗る人が一人増えるだけで 365 回増えるわけですよね。そういうコアなお客さんを増やしていかなければ、やっぱり、毎日来てくれるお客さんをどう作っていくかというのは、この管理側と利用者さんとのコミュニティづくりだと思うので、そこら辺、もっと顔が見える感じで、たっぷり付き合っていくと、そういうコアなお客さんも、ちょっとずつですけど、増えるのではないかなという期待を感じました。

座長

ありがとうございます。そうですね、利用者さん同士、お話の中でも発信というのはありましたけど、もちろん発信するだけではなく、利用者同士、いわゆる口コミで、その友達をいっぱい連れて、そういう場ですね。その場としては、サロンであるとか、食堂であるとか、そういったものがいいと、そこで休みながらコミュニケーションが作られるという、そういうのもあるんだと思います。とてもいいと思います。

Ｃ氏

冬がどういう状況なのかなと思っています。

WADO パークはなまき

冬は休園してますね。

Ｃ氏

その冬の時期に何らかの事業をというか。長い時間で考えていく仕組ではあると思いますが。多分、県に向けての意見かなと思うんですが。難しい問題だと思うのですけど、別の価値、ゴルフ場がちょっとその難しいかなという時に、ゴルフということだけではなくて、そのスペースをどういうふうに生かすかというのを選択肢に、この季節みたいなものが、なんだかヒントになればいいのですけど、そんなことも考えられればいいと思います。ありがとうございます。

WADO パークはなまき

ありがとうございます。そうですね、違う時期の魅力。これは日本人だと気づかない時もあったりするのですけど、新しい魅力を見つけていく。

Ａ氏

イベント広場があるじゃないですか。あそこを合宿に使えないものですか。サッカーとかラグビーとか。

WADO パークはなまき

合宿をするにしても、ここの中ではそのまず火気を扱えないです。

Ａ氏

合宿の練習場。

WADO パークはなまき
　練習場には使っていただくことは可能です。

Ａ氏
　そういうふうに１日使ってもらえれば、一気に利用料などが、のびるのでは。

WADO パークはなまき
　使うことは全然問題はないんですが、あとはどこで宿泊して、例えば金矢温泉に宿泊して、日中はイベント広場で練習をする。全然それは可能です。グランドゴルフなんかそうやって利用されている方もいらっしゃいますので、金矢温泉に宿泊されて、グランドゴルフをしに来る、遠野の方から来る方々というのもいらっしゃいますので、全然そういう使い方とはあります。

Ａ氏
　それを広めればいいのではないですか。

座長
　そういう広がりを出していくのはいいですね。温泉の存在は大きいので、連携した展開があれば。

Ｄ氏
　私もＣ氏と同じことで、冬場はこっちはどうなのかと思ったのですけど、 11 月から 3 月までは閉場というか。

WADO パークはなまき
　そうですね。ゴルフ場だけは雪が降って積もってからクローズと、そして雪解けが早ければ 4 月前にプレオープンという形で動かしています。公園だけはもう 12 月 1 日から 3 月 31 日まで閉園という形をとりますけれども、ゴルフ場だけはその年の雪の降る降らない、解けるというところでクローズする時期、それから早くオープンする時期も定めてやってました。

Ｄ氏
　流動的だということですね。それは別採算だからそれができてるということですか。お金の流れはどうなってるのですか。

WADO パークはなまき
　ゴルフは別採算でやってます。

Ｄ氏
　わかりました。ありがとうございます。

Ｅ氏
　今後の懸念事項として、施設の老朽化やゴルフ場の収支が挙げられています。ゴルフ場については別途資料を確認するとして、公園施設について伺います。例えば十分な予

算が確保できれば、本来は修繕や更新、新設を進めたい施設があるという理解でよいでしょうか。

WADO パークはなまき
一応、県と指定管理者との協定の中で、小規模なものについては、指定管理者がそういった指定管理料をいただいている環境で、修繕を行っていく形になります。ただ、大規模なものになると、我々でも手に負えない部分が出てきますので、そこは県に相談して、県の方で修理をしていただくというような流れでやっているところでして、今回の電気柵なんかも大規模な修繕というか、新設したものです。これはもう県の方で予算を組んでやっていただいたというような感じになっております。

Ｅ氏
大規模修繕等の予算を組む際、金額はどのような基準で決まるのでしょうか。来場者数や利用実績、今後の利用目標なども判断材料になるのでしょうか。

WADO パークはなまき
指定管理の応募をする際に、一応、歳入歳出予算を組んで、それを指定管理料として契約しています。

Ｅ氏
指定管理料や修繕予算の要求額は、何に基づいて算定されているのでしょうか。

WADO パークはなまき
それは、事務局の方で決めているわけです。

Ｅ氏
予算の上限は、公園の規模や来場者数など、どのような基準で決まるのでしょうか。

WADO パークはなまき
利用率が高いから、あのぐらいの予算だとかという決め方ではないです。

Ｅ氏
その金額の上限は、おおむね毎年一定の水準で設定されるという理解でよいでしょうか。

WADO パークはなまき
そして指定管理者としては、管理する中で、ここがちょっと修繕必要ですとていう代表修繕のものを業者さんとかに聞いて見積もりをもらって、そのために、このぐらいに 1 回、その修繕費がかかりますよっていうのを県に報告して、あとは県のほうで判断していただいています。

Ｅ氏
そうすると、事業運営の成果はどのように評価されているのでしょうか。予算に対する実績だけでなく、利用者数やサービスの質など、運営がうまくいっているかを判断す

る指標がどのように設定されているのか伺いたいです。

WADOパークはなまき

我々としては、毎年度、決算の報告というものを出して、県の方にその報告をしています。あとは、県の方がそれを見ているだけではないですか。外部にそれを出しているということは多分なってないのではないかと思います。

Ｅ氏

例えば、指定管理者の工夫や努力によって来園者数が大きく増えた場合、その成果はどのように評価へ反映されるのでしょうか。

Ｃ氏

一応、この会議が１月ごろにもう１回あって、そこで各公園の報告に我々が意見をだして、それがその何らかの直接の評価につながればいいのですけど。

Ｅ氏

公費を使って運営する以上、収益だけではなく、利用者や地域にどのような効果があったのかを数値や指標で確認できる仕組みがあってもよいのではないかと思います。公園は収益最大化を目的とするものではありませんが、効果測定の仕組みが見えると、県民にも説明しやすくなると思います。

事務局（都市計画課）

先ほど、午前中にちょっと説明したのですけども、指定管理制度を導入している施設の管理運営状況というものについて、毎年、ここだけとは関わらず、全県で管理をしている状況を、各所管課の方で評価して、それをホームページに公表するというのが県の全体の流れです。あと、話は戻りますが、指定管理料については、指定管理を今回５年に１度募集するのですけど、その時にもうすでに指定管理料は幾らですよ、毎年幾らですよというのを県で定めます。それに基づいて、手挙げをしていただいて、運営していただきます。

場合によっては、賃金スライドという形で賃金分を上乗せしたりとか、物価高騰で上乗せしたりとか、そういうのは毎年ちょっと変わるようになっております。そして、整備については、各指定管理者からの要望なり、あとはその老朽化の具合に基づいて、別途、整備費という形で必要に応じて計画を立てながら、整備していくというような形になっています。

Ｅ氏

評価の仕組みが既にあるのであれば、懸念事項が出たときに、どこに課題があり、何を改善すべきかがより分かるように、指標や効果測定を見える化できるとよいと思います。公園は収益最大化が目的ではありませんが、維持管理や持続可能性の観点から、公費投入に対してどのような価値や成果が生まれたのかを確認できる仕組みは必要だと感じます。今回、私は経営の観点で参加していますので、引き続き勉強しながら意見させていただきたいと思います。ありがとうございます。

座長

ありがとうございます。ちょっと時間を切りましたので、まとめと言いますか、意見

がありました。特に今回は、やはり経営ということです。ただ経営利益が減るだけではなくて、安全管理の上でも非常に重要だという部分で。そういったところを見つけて、見直していかなくてはいけない、検討していかなくてはいけない、あるいは、本来の価値、公園の価値というようなことも含めて、連動していかなければいけなくなってきているのかもしれないといったことを思いました。

今回の現場調査については、こういう現状があるということが分かりましたし、各委員からの意見も聞いて、状況を踏まえて、より利活用推進を進めていくことについて、どのような取組をしていくのか、どのようなことを検討していくのがいいのか、ということについて話し合っていければと思います。

新たな課題が出されたということで、次に繋げていければと思います。

事務局（都市計画課）

委員の皆様、ありがとうございました。最後に、都市計画課総括課長から、今日の会議に関しまして、改めて謝意を述べさせていただきたいと思います。

都市計画課総括課長

委員の皆様には、本日は様々な観点から、大変貴重なご意見、また具体的な提案をいただきまして、誠にありがとうございます。いただいたご意見を踏まえまして、さらに、県立都市公園の魅力を高めていけるようにして、管理者とも連携して取組を進めてまいりたいと思います。以後、皆様には今後も引き続き、ご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げて、閉会にあたっての御礼の言葉といたします。本日はありがとうございました。

事務局（都市計画課）

以上をもちまして、令和 8 年第 1 回県立都市公園利活用等推進有識者会議を終了いたします。ありがとうございました。